YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	**SK**	**学部・学科**	**国際教養**
学 年	**4**	**派遣国**	**マレーシア**
派遣大学	**マレーシア科学**		
期 間	**2025 年 9 月 2 7 日～2026 年 7 月 26 日**		

【生活編】

1．滞在先

滞在形態	学内の学生寮 ／ 学外の学生寮 ／ (アパート) ／ その他（ ）					
部屋	個室 ／ 2 人部屋 ／ (3 人部屋) ／ その他（ ）					
設備	*共同＝◎　部屋にあるもの＝○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	◎
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約（　20000～25000　）円　*1 ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	（　徒歩　）で、約（　15　）分　*大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先 2 の内容を追加してください。

2．日常生活

（1）1 ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	約 25000 円	朝・昼は自炊をし、夜は外食が基本の一日
学用品購入費	0 円	オンライン教材のため特に買う必要なし
交通費	約 5500 円	Grab、バス
交際費	約 20000 円	週 2，3 回遊びに出かけていた場合
その他	約 29500 円	家賃、光熱費、携帯通信料など
合計	**約 80000 円**	*概算で記録してください。

（2）治安状況・危険地域など

治安は悪いという印象は全く持ちませんでした。夜道を歩くことも多かったですが、変な目や危ない目に遭ったことは一度もありませんでした。また、友人がスマホを置き忘れた時も、拾った方が電話に応じ、対応してくれたということもありました。学校周辺地域は学生も多いということもあり、特に安全性が高い地域だと言えると思います。とはいえ、運が良いだけで、あくまで海外という意識は忘れないようにしていました。強いて危険地域を挙げるとすれば、ジョージタウンの飲み屋やクラブ街がある地域は、ホームレスや酔っ払いなどの人々が多くいるため注意が必要です。

3．海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 ／ その他（　　）		
加入期間	（ 11 ）ヶ月間	保険料	（ 114380 ）円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	Health Insurance		
加入期間	（留学先大学に在学中）	保険料	（ 約 13000 ）円 為替の影響有

4．滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **ペナン** ）

マレーシアで第二の規模を誇る都市で、本島と島に跨っていて、民族的には中華系が特に多い地域とされています。気候は年中 30 度以上で、季節は乾季と雨季に分かれます。島の北部には、ジョージタウンという世界遺産に登録されている伝統的な建築物が並ぶエリアがあったり、リゾート地として有名なビーチもあります。島の中心部には丘や森が広がっており、ハイキングコースなども多く存在しています。中でもペナンヒルは、島の観光地の一つで、頂上からペナンの街並みを一望できます。治安も良く、安全なまちである印象が強いです。

【学業編】

1．大学情報

大学	マレーシア科学大学	所在地	ペナン、マレーシア
最寄空港	ペナン国際空港	空港からの距離	11 ㎞（車で 15 分ほど）
空港⇔大学	（ 大学の送迎バン ） *移動手段		
学生数	約 34000 人	留学生数	5000 人
学部	住宅・建築・都市計画学部 産業技術学部 薬学部 コンピュータ科学部 教育学部 経営学部 経営大学院 コミュニケーション学部 芸術学部 言語・識字・翻訳学部 人文科学部 社会科学部 生物科学部 化学部 数理科学部 物理学部 遠隔教育学部 電気電子工学部 材料・鉱物資源工学部 航空宇宙工学部 化学工学 土木工学部 機械工学部 保健科学部 医学部 歯学部 *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	社会科学部 *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

２．週間スケジュール

①（　10　）月～（　2　）月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Urban Planning(Lecture)	Urban Planning(Tutorial)		General English 1	General English 1
午後		Asean and Asia Pacific (Lecture)	Malaysian Studies	Asean and Asia pacific (Tutorial)	

②（　3　）月～（　7　）月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Gender, Ideology and Power (Tutorial)& (Lecture) Malay Language 1		Malay Language 1	
午後		Work and Life(Lecture)	Work and Life (Tutorial)		

3．履修内容

科目	Urban Development		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	授業内容：まちづくりに関する基本的な概念や知識を学ぶと同時に、マレーシア国内や海外のまちづくりの事情についても学ぶ。 形態；対面授業とオンライン授業のハイブリット、生徒数約 40 人。		
成績	B-		
YCU 振替予定	科目	参加・協働論	
	単位数	2	
	担当教員	三輪　律江	

科目	Geography of Asean and Asia Pacific		
履修期間	前期	単位数	3
授業内容／形態	授業内容：Asean とアジア太平洋における地域に関して、地理的な視点や環境問題の観点から学びを深めると同時に、地域間の経済や関係性についても学ぶ。 形態：対面授業とオンライン授業のハイブリット（オンラインが多め)、生徒数約 90 人。		
成績	B		
YCU 振替予定	科目	国際機構論	
	単位数	2	
	担当教員	髙橋　力也	

科目	Malaysian Studies		
履修期間	前期	単位数	4
授業内容／形態	授業内容：マレーシアがどのような国で、どのように発展してきたのか、統計データや歴史に基づいてマレーシアという国について学びを深める。 形態：対面授業とオンライン授業のハイブリット（対面多め)、生徒数約 300 名。		
成績	A-		

YCU 振替予定	科目	東南アジア史、東南アジア研究
	単位数	2、2
	担当教員	柿崎　一郎

科目	General English 1		
履修期間	前期	単位数	2
授業内容／形態	授業内容：英語の 4 技能を養うクラス。 形態：対面授業とオンライン授業のハイブリット、生徒数約 30 人。		
成績	B+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Gender, Ideology and Power		
履修期間	後期	単位数	3
授業内容／形態	授業内容：ジェンダーに関する基本的な知識や概念について学ぶ。日常で起きている出来事をジェンダーの視点から読み解く。 形態：対面授業、生徒数約 60 人。		
成績	B＋		
YCU 振替予定	科目	ジェンダー論	
	単位数	2	
	担当教員	横山　道史	

科目	Work and Life		
履修期間	後期	単位数	4
授業内容／形態	授業内容：働くということについて社会的な視点から読み解くとともに、特に男女における労働の平等性について議論する。 形態：対面授業とオンデマンド授業のハイブリット、生徒数約 100 人。		
成績	B+		

YCU 振替予定	科目	家族社会学
	単位数	2
	担当教員	黒岩　薫

科目	Malay Language 1		
履修期間	後期	単位数	2
授業内容／形態	授業内容：マレー語の 4 技能を養うクラス。 形態；対面授業、生徒数約 25 人。		
成績	A-		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

＜総括＞

（1）全体的な感想　　*留学生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

この留学を通してたくさんの人々と出会い、様々なことを体験することができ、非常に貴重な経験をすることができたとともに、この留学をサポートしてくださった全ての人々に感謝の気持ちで一杯です、ありがとうございました。

留学をするにあたり、留学の目的として語学と異文化交流の２つを挙げました。この留学で得た気づきに関して、この２つの観点から振り返ろうと思います。
1 つ目の語学に関して、まず自分の英語が世界でどのくらい通用するのか知ることができました。留学当初は、東南アジアの英語のアクセントに全く慣れることができず、相手の英語が聞き取れず聞き返すことも多かったです。また、自分の言いたいことをすらすら伝えることもできず、自分の英語力の低さを思い知らされました。しかし、時間が経つと自然と相手の英語を聞き取れるようになり、自分の言いたいことも徐々にスムーズに伝えられるようになっていきました。相手の英語に馴染みがない場合聞き取りづらいということもよくあることで、時間をかけることがその解決策となる場合もあるということに気づいてからは、焦りすぎないことも大切だと学びました。また、留学中、東南アジアなまりだけではなく、色々な地域のなまりの英語に出会いました。日本にいた時には、アメリカ英語やイギリス英語が大半でしたが、世界中からの留学生と話すとその国の言語の影響を受けた英語に触れることができました。初めて会う人の英語はやはり聞き取りにくいことが多かったですが、過ごしていくうちにその人のアクセントに徐々に慣れていきました。きっと、自分の発音も相手にとっては同じことだと思います。そして、アクセントが自分の言語などに影響されることは自然なことで、それを恥じる必要もないと感じました。こうしたことを感じられるのは、交換留学生であり、また、多民族国家であり準公用語として英語が普及しているマレーシアならではだと思います。
次に、異文化交流の観点から振り返ります。マレーシアはイスラム教徒が最も高い割合を占めるイスラム国家です。自分自身、イスラム教についてはほとんど馴染みがありませんでした。そのため、学校や街にはヒジャブをまとった女性が多かったり、イスラム教徒のお祈りの合図であるアザーンが毎日欠かさず５回まちに響いたり、ご飯屋に行けばお客さんの多くが右手の素手でご飯を食べていたり、その日常が自分にとっては新鮮で刺激を受けました。そうした環境で過ごしていくうちに自然とイスラム教について知識を深めていくことができました。留学生同士で、自分たちの国のご飯を持ち寄ってご飯の交流会を行ったときも、材料がハラルかどうか気を配りながら作りました。色々な文化や宗教が混ざり合っている地域では、お互いの文化や宗教を尊重し合いながら関わっていくことが重要であるということを再認識しました。

（2）今後の展望　　*この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

この留学では、主に語学面と精神面で成長することができました。とはいえ、英語にはまだまだ伸びしろがあるため、現状に満足せず引き続き英語学習に励みたいと思います。そして、英語を話せるようになるのを目標にするのではなく、英語を道具と捉え、世界の人々と交流する機会を増やしていければと思います。また、語学に加え、異文化に対する知見も生かして、一人の国際人として社会に貢献できる人材になれるように努力していこうと思います。

また、この留学を通してチャレンジ精神を成長させることができたと感じています。出願手続き、外国での初めての生活、授業、新しい人との出会い、どれも不安が伴いましたが、最初の一歩を踏み出せば、その後ほとんどのことはうまくいきました。これまで、自信がなければ挑戦をあきらめがちでしたが、それはせっかくの機会を逃してしまっていたということに改めて気が付きました。これから先、新しいことへの挑戦だらけになると思いますが、この留学での経験を忘れずに色々なことにチャレンジし続けたいと思います。

（3）後輩へのアドバイス　*留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

交換留学をするにあたり、出願の申請やビザの申請など、書類の手続きは基本的には自分で行うことになります。そこで大切なのが、やはり余裕を持って行動することです。申請をしても受理されるのに時間がかかることは多々ありますし、締め切りを過ぎると留学自体が危ぶまれてしまいます。海外とのやり取りは予期せぬ事態も起こりかねないため、早めに準備に取り掛かることを強くお勧めします。

また、留学期間中に自分が意識していたことの一つが、チャレンジを忘れないことです。食べたことのない食べ物を食べたり、新しい趣味を始めてみたり、初めてのコミュニティに参加したり。色々なことに挑戦をしていうちに、自然と友人が増えたり新たな発見をしたりと自分の世界も広がっていったように感じました。ただ、無理をしてまでチャレンジする必要はありません。特に、10 か月間の長期留学では、最初から頑張りすぎてしまうと残りの留学生活が苦しくなってしまう場合もあります。せっかくの留学だからと気を張りすぎず、でもチャレンジすることは忘れず、うまく力を抜くことがより良い留学生活を送るために重要なことだと思います。